

決議第 1号

「民族共生の未来を切り開く」決議について

このことについて、会議規則第 14 条の規定により、裏面のとおり提出いたします。

令和2年3月12日 提出

提出者 江差町議会議員 西 海 谷 望

賛成者 江差町議会議員 萩 原 徹

” ” 飯 田 隆 一

” ” 室 井 正 行

” ” 小 梅 洋 子

” ” 塚 本 真

” ” 小 野 寺 真

” ” 小 林 くにこ

” ” 出 崎 太 郎

” ” 大 門 和 幸

「民族共生の未来を切り開く」決議書

アイヌ文化の復興・発展の拠点としてウポポイ（民族共生象徴空間）が北海道白老町ポロト湖畔に、4月24日誕生します。

先住民族アイヌを主題とした日本初の「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」等からなるこの施設は、国では年間来場者100万人の目標を掲げ、道内においては官民一体となって誘客活動に取り組んでおり、道内各地のアイヌ文化振興の取り組みや食・観光等の地域の多様な魅力とつなげることにより、国内外への総合的な情報発信の強化となり、国民理解の促進が大きく期待されます。

また、北海道を訪れる観光客のさらなる増加は、新たな産業の創出・既存産業の活性化など相乗効果も期待されるところです。

よって、江差町議会は、ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、江差町民の協力を得て、「民族共生の未来を切り開く」決意をここに表明します。

令和 2年 3月12日

北海道江差町議会議長 打越 東亜夫